

3年生物環境工学科「国語総合」

9月13日（水）3・4限目の3年生生物環境工学科の「国語総合」の時間に「ハンセン病問題と私たち」と題して自分たちの意見を発表しました。皆さん、よくご存じのことと思いますが、「ハンセン病」とは、「らい菌」に感染することで起こる病気です。感染すると手足などの末梢神経が麻痺したり、皮膚に様々な病的な変化が起こったりします。また、体の一部が変形するといった後遺症が残ることもありました。

現在は、特効薬も発見され、感染・発症力も弱く、完全に治る病気であるとわかっています。

しかし、国の定めた法律や制度によって偏見や差別が生じ、想像を絶する苦しみを受けた患者さんは人権を侵害され、社会から差別や偏見を受けました。

私は、本年度、ハンセン病療養所を訪問させていただきました。患者の皆さんの長い間の精神的苦痛やいまなお解決していないハンセン病問題について新たな課題を学びました。

3年生物環境工学科の生徒の皆さん、学びを深めるために体験と同時に聞く・読む、考える、書く・発表することを繰り返しましょう。体験からほとぼしる自分の言葉を大切にしましょう。

